NPO法人美容週間振興協議会

全国美容週間実行委員会

The Movement of Beauty Week vol.75

ザ・ビューレック 編集部 番記者より

全国美容週間実行委員会の動向をお届けするコーナー。同実行委員会内の分科会や各支部の活動報告、全体で目指していることなど情報満載でお届け。

全国美容週間京滋地区実行委員会が「Beauty Week Contest 2022」を開催

全国美容週間京滋地区実行委員会(花谷直樹京滋地区委員長)は、6月27日(月)、ロームシアター京都(京都府・京都市)において、「Beauty Week Contest 2022」を開催した。冒頭、花谷地区委員長は「本年度の開催は、コロナウイルスの影響が比較的落ち着いたタイミングも相まって、多くの美容学校・サロンに参加していただけて光栄に思う。習得した技術を存分に発揮してほしい」と挨拶。競技内容は学生部門が「ワインディング部門(1年生部門・2年生部門・オールパーパス部門)」、「グローイングバトル」、「フォトチャレンジ」の3部門と、一般部門の「ワインディング部門」、「ウィッグカット部門」、「モデルアレンジ部門」、「インスタリール部門」の4部門の計7部門9種目で、日頃の練習で積み重ねた技術を競い合った。また、コンテストの合間には、美容学校とサロンスタッフで対決する「大運動会」も開催され、会場は熱気に包まれた。

【学生】ワインディング

大運動会の様子

花谷地区委員長 挨拶

【学生】グローイングバトル

ウィッグカット・ワインディング

モデルアレンジ

【学生】フォトチャレンジ

表彰式の様子

瀧川裕史全国美容週間実行委員長 挨拶

表彰式では、入賞者が発表されるたび大きな歓声が上がり大盛況であった。閉会の挨拶で瀧川裕史第44代全国美容週間実行委員長は「レベルの高い作品が多く感動している。各人の日々の努力が見えて嬉しい。美容週間では「2022 WEB PHOTO CONTEST」の作品も募集しているので、是非参加して高みを目指してほしい」と締めくくられた。優勝者は下記のとおり。

モデルアレンジ部門

ウィッグカット部門

ワインディング部門

インスタリール部門

【モデルアレンジ部門】 福原有美(Hair make MUSE)
ザ・ビューレック社賞 斉藤真之介(M'ROAD)

【ウィッグカット部門】 今村僚介(I'm annex sala)
ザ・ビューレック社賞 中川ほのか(hair design Rinto)

【ワインディング部門】 吉永琴香(Befine)

【インスタリール部門】 田中裕士(TINO by ganesha)
ザ・ビューレック社賞 中屋真之介(Hair Oasis biotope)

【学生ワインディング部門(1年)】 中西愛莉(京都理容美容専修学校)

【学生ワインディング部門(2年)】 中島和佳奈(京都理容美容専修学校)

【学生ワインディングオールパーパス部門】 小畑琴(京都理容美容専修学校)

【学生グローイングバトル】 宮野栞月、菅涼香、吾郷楓(京都理容美容専修学校)

【学生フォトチャレンジ部門】 大江楓(京都理容美容専修学校)

ご入会・セミナー参加などのお問い合わせ先

NPO法人美容週間振興協議会 事務局
E-mail:kamijo@beautyweek.com　※随時ご入会可能です!

- 美容週間ホームページ▶www.beautyweek.com
- 美容週間ライン公式アカウント
  ▶https://page.line.me/883uriau?openQrModal=true
- 美容週間Instagramページ▶https://www.instagram.com/beautyweek_9.4/
- 美容週間Facebookページ▶www.facebook.com/beautyweek

▶▶美容週間とは・・・

9月4日「くしの日」を中心にさまざまなイベントを行い、美容業界全体で消費者に日頃の感謝の気持ちを表し、美容への関心を高め、美容ニーズの振興を図る活動や、美容業界のすばらしさを社会にアピールする活動を通じ、美容師を目指す人を増やす。そして、高度な要求に応えられる技術研鑽及び技術者の育成や美容業界全体の活性化と持続的発展を目的として、1979年のスタート以来、サロン・メーカー・ディーラー・理美容学校、団体等の垣根を越えた多くの方々が参加している。実行委員長は1年ごとに交替任命され、実行委員会が提示するテーマのもと、各委員会、各地区委員会が目標を掲げて1年間活動している。